

尚友会だより

第10号

尚美学園大学尚友会会報第10号

【発行日】令和6年10月1日
【発行者】尚美学園大学尚友会
〒350-1110
埼玉県川越市豊田町 1-1-1



ごあいさつ

尚友会名誉会長（尚美学園大学学長）

永山 賀久

本年4月、学長に就任いたしました永山賀久と申します。どうぞよろしくお願いいたします。お陰様で本学は、現状、安定した堅実な運営を行っておりますが、これもひとえに尚友会をはじめ関係の皆さまからのご理解、ご支援の賜物であり、あらためて深く感謝申し上げます。卒業生の皆様が社会の様々な場面で活躍しておられること、大変嬉しく、また頼もしく感じています。

学長に就任後実感することの一つは、本学は、開学以来のチャレンジ精神や、母体となった短期大学の頃からの「学生一人一人

を大切に教育」の伝統がしっかり根付いている、ということです。引き続き、これらに磨きをかけつつ、生涯を通じて自律的・自発的に学び続ける「市場競争力のある人材」の育成に向けて、全学をあげて取り組んでいきたいと考えています。

2026年には、本学の前身である尚美音楽院の創設から数えて100年という節目を迎えることとなります。本学においても、「学校法人尚美学園創立100周年事業実行委員会」を立ち上げ、尚友会とも連携を取りつつ多彩な事業を展開するとともに、この機会に、芸術情報学部等の学科改組など様々な改革・改善に着手し、さらなる飛躍を目指してまいりますので、変わらぬご理解、ご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、尚友会の今後のますますのご発展を心からお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



「同窓生のための同窓会」

尚友会 会長 小山内 仁

2024年元日に発生した能登半島地震で被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、現在、復興にご尽力されている方々へ敬意を表します。

日頃より尚美学園大学同窓会組織である「尚友会」の運営につきまして、会員の皆様から多大なご協力とご支援を頂いておりますこと心からお礼申し上げます。この度、役員会で承認を受け、引き続き会長に就任することになりました。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、我が国を取り巻く状況は、行き過ぎた円安や中国・欧州を中心とした世界経済の停滞、地政学リスクの高まり、国内政治不安の深まりなど、内外でのリスク要因の顕在化により、先行きにも不透明感のある状況となっております。さらには、少子化は、地域の経済活動や社会保障機能の維持に支障を来すなど、日本の未来を左右する喫緊の課題です。

このような状況の中、会員一人ひとりがこれまで以上に同窓会活動としての尚友会に関心をもち、若い卒業生をはじめ各世代の方々に主体的・積極的に参加していただける「会員ニーズと時代にマッチした魅力的なネットワーク」を展開して参りたいと思っております。

同窓会は同窓生一人一人にとってどういう存在なのだろうと考えると、必ずしもすべての人が同窓会を身近に感じているとは言えないのではないのでしょうか。今、同窓生の数は3万人にのぼると聞きました。一人一人の持てる力は小さくとも、3万人の力を合わせれば、多くのことが成し遂げられそうな予感がします。多くの同窓生にとって、もっと身近で、親しみやすい「同窓生のための同窓会」となるよう努力したいと思います。

もちろん、母校である尚美学園大学の発展に寄与することが重要なことは言うまでもありませんが、私たち同窓生の結束があって初めてなし得ることと思います。

最後になりますが、これからも全国の卒業生の皆様と一層連携を密にして、尚美学園大学の発展と、尚友会の活性化に努めていく所存であります。全国の会員の皆様はじめ関係各位の皆様方には、今後とも引き続き御支援、ご協力をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

予告

尚友会は『下松原 思い出横丁』として
尚美祭(10/26~27)に出展いたします。

メッセージ

川越市下松原は、かつて上福岡キャンパスのあった思い出の地です。(残念ながら現在は住宅地になってしまいました。)

当日は、短大時代から現在までの卒業アルバム、思い出の写真や品々を展示します。

現在の大学の様子をご覧いただきながら、懐かしい学生時代にタイムスリップできる場所を提供いたします。皆様のご来場をお待ちしています。

お問い合わせ先：尚美学園大学 尚友会担当：049-246-2127 (学生課直通)



▲ 過去の出展の様子



テーマ

尚美といえば ○ ○ ○ について語っていただきました



卒業生

尚美学園短期大学
7期生
Bass TromBone奏者

比嘉 一博

「尚美といえば…県人会」

沖縄県出身、尚美学園短期大学 7 期卒業、Bass TromBone 奏者の比嘉一博です。

尚美学園短期大学に入学して右も左も分からない時に安心できたのが、同郷の先輩と同級生達でした。

沖縄から出て来て未知の場所でやっていけるのだろうか？これからはもっと頑張らなければ、と言う気持ちが混在し緊張している中、同じクラスや練習館などで沖縄なまりを聞くと安心でき、すぐに近寄っていき「沖縄の何処出身なの？」と、聞きながら自己紹介をして話しているうちに、沖縄県出身者が集まって来たのを覚えています。

管楽器科、ピアノ科、作曲科、情報ビジネス学科など学科の垣根を越えて集まっていきました。先輩などの知り合いも増え沖縄県人会がある事を知り、嬉しかった事を覚えています。

東京から距離が離れば離れるほどそう言った組織が多くなったのも必然かもしれません。もちろん各都道府県からの尚美に入学した人数にもよりますが、その当時沖縄からの尚美学園短期大学に入学した人数は多かったと記憶しています。

私が 2 年生になると県人会会長を務め、学園祭では沖縄県人会のお店を出店し、オリオンビール、ソーメンチャンプルー等々、沖縄にゆかりのあるものを提供しました。

来ていただいた沖縄県以外の学生また、良くしてくださった先生方にも喜んでもらい、さらにそこから他の人達との交流が深くなった事を覚えています。

やはり人との繋がりを大事にしていくことは生きていく上でとても大切だということを沢山経験させていただきました。



卒業生

尚美学園大学
芸術情報学部
音楽表現学科
ビジネスコース
1 期生

橋本 芽美
(旧姓：吉田)

「尚美といえば…メディアセンター」

当時私は上福岡と川越の 2 つのキャンパスに通っていました。そのどちらの場所でも気に入っていたのはメディアセンターです。音楽の資料が多い上福岡のメディアセンターには、クラシックの名盤と呼ばれる CD や、年季の入った楽譜達がずらりと並んでいました。CD を手に取り、その曲のスコアを眺めながら、狭い視聴ブースで音楽を聴く時間がとても落ち着きました。また、語学、歴史、芸術のほか、幅広いジャンルの資料が置いてあった川越のメディアセンターでは、課題に必要な資料を探すためによく足を運んでいたのを覚えています。

そして当時、パソコンの構造にとても興味があった私は、メディアセンターで情報を集め、自宅で自作 PC を組み立てるのが趣味の一つでした。完成したそのパソコンでは、友達と徹夜でオンラインゲームをしたり、映像や写真を加工して作品を作ったり…。ただただ夢中で楽しかった日々が今に繋がっているように感じます。

私は今フリーランスで映像制作をしています。大学卒業後は CM や MV を編集するポストプロダクションに就職し、その後 MV の制作会社へと移りました。震災を機に地元の福島県に戻り、現在は子育てをしながら撮影や編集の仕事を行っています。

卒業し 20 年が経ちました。今でも気軽に連絡を取り合える友達との出会い、先生方との出会い、尚美でのあらゆる貴重な出会いと経験に感謝しております。



卒業生

尚美学園大学
総合政策学部
総合政策学科
2期生

齊藤 宗章

「尚美といえば…愉しさ」

総合政策学部総合政策学科 2 期生として卒業。

在学中、所属していた軟式野球サークル活動の中で学んだ「愉しさ」を今でも大切にしております。

キャンプやリーグ戦、懇親会を定期的に行い、充実したキャンパスライフを送らせていただきました。在学中に関東大会優勝はまさに今話題のエンジョイベースボールだったと思います。リーグ戦では固定メンバーではなくその日の参加メンバーで戦わなければならない、必然とゲームメイクや作戦やオーダーも日替わりなので、経験してきた

高校野球とは全く違う愉しさを体感することができました。

現在は野球を始めやすく・野球を愉しむを、コンセプトにした小学生対象の学童野球クラブ「ポジティブベースボールクラブ」を設立し現在は 52 名の子ども達と愉しく活動しております。設立 2 年目の 2023 年には株式会社ミズノさんより全国のモデルクラブとしてご招待いただき野球の聖地でもある阪神甲子園球場で試合を経験。

夢のようなお話をいただいた時は新しい形の学童野球の輪が全国に広がっていくと確信しました。これからも尚美学園大学で培った愉しさを子ども達へ発信し、新しい選択肢そして受け皿として野球人口増加に向けて微力ではございますが貢献できるように活動して参ります。

Topic 2 第10回定期総会報告

●2023年度事業報告 2023年度の事業計画は、卒業生並びに学校関係者からのご支援ご協力を賜りながら、第9回定期総会のWeb開催、広報誌「尚友会だより第9号」の発刊など、以下の通り実施した。

【尚友会事業】

- 1) 第9回定期総会
書面会議（Web）にて開催
- 2) 役員会
役員会：6月、9月、11月、2024年2月
三役会：4月、9月、2024年2月
- 3) 全国支部長会議
2023年6月：Webにて開催
- 4) 広報活動事業
 - 広報誌：「尚友会だより 第9号」10月1日発行、HP公開
 - 尚美祭：尚友会ホームページへの広告掲載にて協賛
 - 尚友会ホームページ：随時更新
 - ラジオ：（株）フラワーコミュニティ放送にてラジオ番組
 - コンサート：第1回尚友会コンサートを尚美学園大学パストラルホールにて開催
- 5) 大学・各学部・各学科主催行事および後援会行事への積極参加
各種行事に祝花送付及び役員の派遣を行う
- 6) 尚美祭への参加
有観客開催のため、「下松原思い出横丁」を運営
- 7) 教育振興事業
 - キャリア就職支援としての就職セミナー：開催せず
 - 教職課程支援としての教育シンポジウム：開催せず
- 8) 教育活動・学生募集支援事業
教育活動や学生募集活動に関わる支援：教具等の購入、同窓生入学者紹介制度謝礼等を実施

【助成事業】

- A) 学友会活動
 - 2023年度学友会予算へ助成金拠出
 - 卒業記念品：尚友会マーク入り袱紗を大学院修了生及び学部卒業生に贈呈
- B) イベント支援
会員が開催する親睦会・イベント・演奏会等の活動支援：詳細はHPに掲載
- C) 支部活動
支部総会（東京、沖縄、北海道、東北、北陸）Webでの開催を推奨し、活動助成費を支給
- D) 学生福利厚生
カフェテリア・売店事業への支援

●尚美学園大学 尚友会役員（任期：2024年4月1日～2027年3月31日）

名誉会長	永山 賀久（尚美学園大学学長）	理 事	川北 栄樹（大学4期生）
会 長	小山内 仁（短大6期生）	理 事	宮本 勝彦（短大7期生）＊新
副会長	富山 和幸（短大6期生）	理 事	斎藤 宗章（大学2期生）＊新
副会長	白石 英二（大学1期生）	監 事	高麗 秀純（短大8期生）
副会長	松田 有司（大学1期生）	監 事	井戸 正利（短大14期生）
理事（会計）	高井 康子（短大8期生）	幹事長	柴崎 義之（尚美学園大学事務局長）
理 事	伊藤 ゆき子（短大6期生）	顧 問	高埜 雅之（短大1期生）
理 事	大橋 美穂（短大6期生）		
理 事	丸尾 直史（短大6期生）		
理 事	鎌田 麻子（大学1期生）		
理 事	中村 大助（大学1期生）		
理 事	皆川 純一（大学1期生）		

●2024年度事業計画

【尚友会事業】

- 1) 第10回定期総会
Web会議形式にて開催
- 2) 役員会
6月、9月、11月、2025年2月に開催。必要に応じて、三役会、事業担当者会議なども開催する。
- 3) 全国支部長会議
6月22日総会後に開催
- 4) 広報活動事業
 - 広報誌
 - 尚美祭
 - 尚友会ホームページ
 - コンサート：「尚友会だより 第10号」を10月に発行予定・HPに掲載
：パンフレット広告へ協賛
：随時更新
：第2回尚友会コンサートを尚美学園大学パストラルホールにて開催
- 5) 大学・各学部・各学科主催行事および後援会行事への積極参加
- 6) 尚美祭への参加
後援会並びに学生との交流等
- 7) 教育振興事業
 - キャリア就職支援：就職セミナー「OB/OG 講演会」を11月に開催
 - 教職課程支援：教育シンポジウムを11月に開催
- 8) 教育活動・学生募集支援事業
教育活動やキャリアセンターと連携し学生募集活動に関わる支援（教具等の購入、同窓生入学者紹介制度謝礼等）
- 9) 尚美学園100周年記念事業に向けた取り組み
専門学校同窓会との合同実行委員会による連携

【助成事業】

- A) 学友会活動
 - 学友会2024年度予算へ助成金を拠出
 - 卒業記念品事業は役員会にて協議し実施
- B) イベント
会員が開催する親睦会・イベント・演奏会等の活動を支援
- C) 支部活動
支部総会（東京、沖縄、北海道、東北、北陸、埼玉）の開催（Web等）を支援新設（西日本支部）に向けて
- D) 学生福利厚生
カフェテリア・売店事業への支援

●2023年度決算・2024年度予算

2024年度尚友会予算書

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

【収入の部】				（単位：円）
科 目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考
会費	13,200,000	15,520,000	13,200,000	会費20,000円×880名定員
維持会費	100,000	133,843	100,000	
寄付金		100,000		
その他	100	197	100	利息等
合 計	13,300,100	15,754,040	13,300,100	
前年度繰越金	17,697,585	17,697,585	8,540,643	現金・預金
総 計	30,997,685	33,451,625	21,840,743	

【支出の部】				備考
科 目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	
本部費	4,330,000	2,968,454	3,530,000	
消耗品費	10,000	0	10,000	文房具、紙類等
旅費交通費	3,000,000	2,588,855	3,000,000	役員会等手当、日当、交通費、宿泊費等
印刷製本通信費	20,000	7,550	20,000	印刷費、郵送費等
備品費	100,000	57,420	100,000	備品等
会議費	1,000,000	108,847	200,000	会議開催費用、食事代等
雑費	200,000	207,982	200,000	庶務費、祝花、手数料等
事業費	8,700,000	7,232,028	8,800,000	
総会運営費	3,000,000	3,172,468	3,000,000	消耗品費、旅費交通費、印刷製本通信費、会議費等
会報発行費	200,000	122,100	200,000	制作通信費（尚友会だより制作）
広報活動費	2,000,000	1,374,460	1,500,000	尚美祭出店料および広告費・ホームページ作成管理等
教育振興費	500,000	0	100,000	教職シンポジウム、就職講座、講演等
教育活動・学生募集支援費	3,000,000	2,563,000	2,000,000	キャリアセンター協賛事業、教員の購入、前次会報納入学生文庫、
交流会費	0	0	2,000,000	尚友会コンサート他
助成費	11,000,000	6,140,000	6,000,000	
学友会助成	2,000,000	2,000,000	2,000,000	卒業記念品等費等
イベント助成	2,000,000	440,000	1,000,000	親睦会・演奏会等
支部活動助成	3,000,000	1,300,000	1,000,000	支部立ち上げ準備会、支部活動等
学生福利厚生助成	4,000,000	2,400,000	2,000,000	カフェテリア、売店支援等
予備費	1,967,685	3,470,500	2,510,743	
周年記念事業	5,000,000	5,000,000	1,000,000	
総 計	30,997,685	24,810,982	21,840,743	

【収支の部】				備考
科 目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	
収 入	30,997,685	33,451,625	21,840,743	
支 出	30,997,685	24,810,982	21,840,743	
総 計	0	8,640,643	0	決算総計額＝次年度繰越金

Topic 3 学生の活躍

「第20回 AC ジャパン広告学生賞」にて在校生の作品が＜準グランプリ＞＜優秀賞＞を受賞しました

公益社団法人ACジャパンが主催する「第20回 AC ジャパン広告学生賞＜テレビCM部門＞＜新聞広告部門＞」にて、芸術情報学部 情報表現学科の学生作品（2作品）がそれぞれ「準グランプリ」と「優秀賞」を受賞しました。

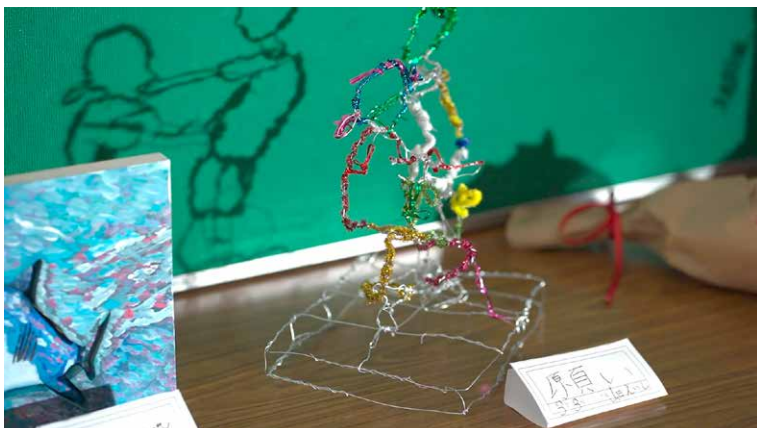
「準グランプリ」を受賞したCM映像作品は、2024年7月より1年間、BS民放11局にて実際のCMとしてオンエア予定です。

テレビCM部門では参加校38校・266作品、新聞広告部門では参加校34校・590作品の応募があり、多くの作品の中からの選ばれたことはとても嬉しく、誇らしい功績です。

受賞された皆様おめでとうございます。

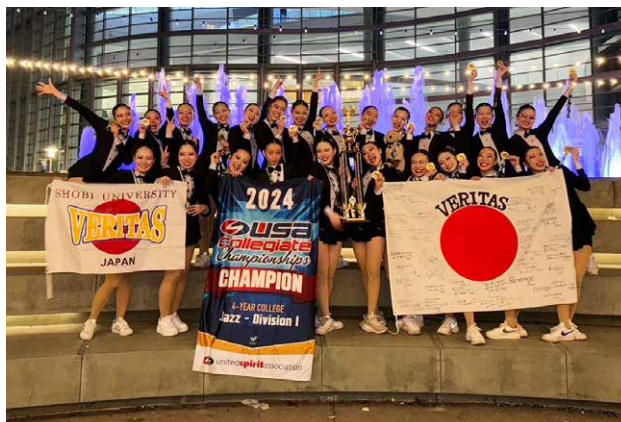


ACジャパン広告学生賞 新聞広告部門 応募作品



女子チアダンス部「VERITAS」全米大学選手権大会『USA Collegiate Championships 2024』2連覇達成

女子チアダンス部「VERITAS」は、2024年2月17～18日にアメリカ合衆国カリフォルニア州アナハイムコンベンションセンターで開催された『USA Collegiate Championship 2024（全米大学選手権大会）』に出場し、4Year College Jazz Division I部門において優勝し、去年に引き続き2連覇を達成いたしました。
チアダンス部の皆様、2連覇おめでとうございます。



「学生制作する音楽録音作品コンテスト」にて在校生が優秀録音技術賞を受賞しました

一般社団法人 日本オーディオ協会が主催する「学生制作する音楽録音作品コンテスト」にて、芸術情報学部 情報表現学科所属の学生3名（嶺李歌さん、荒川千尋さん、上原早稀さん）が、優秀録音技術賞を受賞しました。

「学生制作する音楽録音作品コンテスト」とは、学生の柔軟な発想を活かした魅力ある音楽録音作品の登場を期待して開催しているコンテストです。受賞された学生の皆様おめでとうございます。

【作品名：鮮やかを手にする（2ch,96kHz/24bit）】

▼一般社団法人 日本オーディオ協会公式サイト

<https://www.jas-audio.or.jp/news/post18938>



Topic 4 尚美学園創立100周年事業プロジェクト

大学と専門学校を設置する学校法人尚美学園が2026年に100周年という大きな節目を迎えます。

現在、大学と専門学校の同窓会組織が合同事業として100周年記念行事に向けて定期的に会議を開催しております。

100周年に向けて気運醸成を高めること目的として、まずはPR活動を展開していくことを予定しております。

具体的な内容が決まりましたら尚友会HPやSNS等で発信していきます。

100周年に向けて両組織が強く結束して、オール尚美で少しでも多くの学生募集につなげていければ幸いです。



Topic 5 尚友会コンサート

2023年12月16日(土)尚美学園大学パストラルホールにおいて「第1回尚友会コンサート」が行われました。多くのご来場をいただき誠にありがとうございました。

「音楽で繋がる友情」をコンセプトに、全国各地から卒業生が母校に集い、懐かしい学舎で卒業生と在校生がステージ演奏を通して、世代を超えた音楽の交歓の場となりました。

第2回の開催は2024年12月14日(土)を予定しております。

皆様のご参加、ご来場をお待ちしております。



助成事業

「学生への支援」

後援会と尚友会の共同企画として、定期的にカフェテリア・売店での協賛企画を実施しております。

尚友会は、勉強やクラブ活動を頑張っている学生の皆様に喜んでいただけるよう引き続き支援してまいります。



Topic 6

卒業生の活躍



こちらを経営されているのが総合政策学部3期生の中村雄司さんです。



川越のクリアモールを進んで行き、丸広百貨店付近の脇道に入って、少しすると見えてくるのが創作居酒屋大黒屋です。

こちらを経営されているのが総合政策学部3期生の中村雄司さんです。そんな中村さんに在学時代のことや現在についてお話を伺ってきました。

《中村さんのコメント》

在学時代の思い出としては開学してから間もなかったこともあり、自分たちでサークルを作り上げていくことや、新しいことにチャレンジできる環境がとても楽しかったことを覚えています。

卒業してから20年近く経過していますが、尚美学園大学で沢山の学びや経験ができたことが今の経営にも繋がっていると思っています。

その感謝の気持ちもあってか尚美生がアルバイトの面接に来ると優先的に採用しています(笑)

今も川越でお店をやっていることあるので尚美生の活躍はいつも気になるので、今後も何か母校のためにやれることがあれば協力していきたいと思っています。

在校生、卒業生、職員、先生に会いたいのでは非、お時間があればお店に立ち寄っていただけると嬉しいです。



中村さんと奥様の果菜さんです。

中村さんから尚美特典をご用意いただきました。

■尚美学園大学の在校生、卒業生、先生、職員限定企画

- ・2人～3人で来店されたらドリンク1杯サービス
- ・4人以上で来店されたら会計時10%割引

来店時に「尚友会だよりを見た」とお伝えください。

<https://tabelog.com/saitama/A1103/A110303/11034457/>

<https://www.instagram.com/daikokuya0406/>

https://x.com/Daikokuya_Ebisu

Topic 7

維持会費納入の御礼とお願い

2023年度の維持会費納入にご協力いただきまして、ありがとうございました！

お陰様で、2024年3月末現在〔合計56口、112,000円 2023年度寄付金：100,000円〕（口座徴収料金除く）が集まりました。引き続き、2024年度もよろしくお願いいたします。

尚友会の事業は、入学時に納入していただく「終身会費」と卒業生や教職員の皆様から任意で納入していただく「維持会費」により運営されます。この維持会費の拡充により、現役学生への支援も手厚いものとなります。尚友会の掲げる『建学の精神である<智と愛>を継承し、会員相互の親睦向上を図るとともに、尚美学園大学の教育振興を支援し、もってその発展に寄与する』という目的をご理解いただき、ぜひ維持会費の納入にご協力をお願い申し上げます。

■お預かりした会費の使途である「尚友会事業」は以下の通りです。-----

【尚友会事業】

- ①定期総会開催
- ②役員会開催
- ③広報活動事業（会報発行、ホームページ作成等）
- ④大学・各学部・各学科主催行事への参加
- ⑤学園祭への参加
- ⑥教育振興事業
（教職資格課程支援やキャリア就職支援プログラムなど）
- ⑦教育活動・学生募集支援事業



尚友会 定期総会



下松原思い出横丁（尚美祭出店）



助成金交付事業卒業生企画・演奏等コンサート



教育振興助成事業（教育シンポジウム）

【助成事業】

- ①学友会活動助成（卒業記念品事業など）
- ②イベント助成
- ③支部活動助成

■ 2024 年度「維持会費」（年会費）の納入について

1. 維持会費は、一口：2,000 円です。
2. 維持会費は、年会費として会計年度（4/1 ～翌年 3/31）毎に収納いたします。
3. 納入方法は、郵便局（ゆうちょ銀行）からの払込みでお願いいたします。

※同封の「払込取扱票」に送金額を添えて払込みください。
（手数料は不要です）

※ゆうちょ銀行の ATM（払込み機能のあるものに限ります）でもご利用いただけます。

※払込み「金額」の記入に加え、通信欄に「住所・氏名」及び卒業生は「学籍番号・学科名」、旧教職員は勤務時の「所属部署」を明記してください。

※現教職員の皆様には、別途学内でご案内いたします。

Topic 8

住所変更や改姓のお手続きについて

尚友会では、会員名簿の整備を行っています。各種行事のお知らせ、会報誌の送付など、校友会運営に役立っています。ご卒業後にお名前や住所等が変更になった方は、下記連絡先まで情報をお寄せください。

<尚友会連絡先>

〒350-1110 埼玉県川越市豊田町1-1-1
尚美学園大学 尚友会担当：049-246-2127（学生課直通）
【E-mail】gakusei-ml@s.shobi-u.ac.jp

Topic 9

尚友会情報発信中！

尚友会では皆様に多くの情報をタイムリーにお届けさせていただけるようにX(旧 Twitter)を開張いたしました。

これからは学生の活躍、OB・OGの方々の活躍や大学関連の情報をX(旧 Twitter)でもお届けしていきます。

是非、フォローをよろしくお願いいたします。

<尚友会 X (旧 Twitter)>
「尚友会 X」で検索してください！



<お問い合わせ>
e-mail：info@shobialumni.jp

編

集

後

記

本年は新型コロナウイルスが蔓延していた頃が嘘のようにキャンパスで学生の姿を目にすることが多くなりました。日常に戻ったということなのでしょうが、油断はせずに日々生活していきたいと思います。さて、尚友会だよりも数えること10回目の発行を迎えることができました。今回も尚友会の活動報告や在校生、卒業生の活躍を皆様にお伝えすることでできて嬉しく思っております。発行にあたっては多くの皆様のご協力をいただき、誠にありがとうございました。